

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）
 <土づくりの使用資材・肥料について>

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	化成率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成量kg	使用量	使用時期	回数	化成量kg
牛ふんたい肥	牛糞	与論町堆肥センター							100	元肥	3,300	7/22	1		3750	9/30	1	0.0
さざん華	鶏ふん堆肥	JA							100	元肥	90	9/20	1		90	9/30	1	0.0
米ぬか	米ぬか	JA							100	元肥	600	9/20	1		600	9/30	1	0.0
BB222	硫酸加里	JA	12	12	12	12			0	元肥	80	11/2	1	9.6	80	11/2	1	9.6
亜リン酸粒状1号	亜リン	JA	0	0	7		5		0	元肥	20	11/2	1		20	11/2	1	0.0
さざん華	鶏ふん堆肥	JA							100	元肥	100	11/2	1		100	11/2	1	0.0
シープロテイン	アミノ酸液肥	JA							100	追肥	6		4					

【慣行農法との比較】

*化学肥料

要素分と比較して	当地比	5	削減
化学肥料	要素使用量 (kg/10a)		
慣行使用量		22	
計画使用量		9.6	

*節減対象農薬

	当地比	7	削減
節減対象農薬	計画回数		地域の慣行防除
土壌消毒剤			
除草剤			
殺虫剤			
殺菌剤			
その他薬剤			
合計	8	30	

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、屋着剤等を含む）

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画				実績				使用量/10a			
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
生長調整	ジベレリン粉末	ジベレリン		成長調整	5ppm		11/9,11	2	0	5ppm		11/9,11	2	0	2	3
殺菌	セイビアフロアブル20	フルジオキシニル		殺菌	1000			1							3	3
殺菌	アミスター20フロアブル	アノキシストロピン		殺菌	2000			1							3	3
殺菌	アフエットフロアブル	ベンチオピラド		殺菌	2000			1							3	3
殺虫	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン		殺虫	4000			1							3	3
殺虫	ベネビアOD	シアントラニプロール		殺虫	2000			1							3	3
殺虫	ディアナSC	スピネトラム		殺虫	2500			1							2	2
殺虫	ダニトロンフロアブル	フェンピロキシメート		殺ダニ	1000			1							1	1
殺虫	コロマイト乳剤	ミルベメクセン		殺虫	1500			1	0						2	2
殺虫	粘着くん液剤	ヒドロキシプロピルデンブ		殺虫	100			1	0						-	-
殺虫	ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス		殺ダニ	2000			1							2	2
殺菌	ボトキラー水和剤	バチルス ズブチリス		殺菌	1000			1	0						-	-

備考:

・サンゴが風化してできた赤土と海から吹くミネラルたっぷり潮風を浴びて育ったおいしいインゲンです。・完熟した牛ふん堆肥や、米ぬかなどの有機質肥料と、地元さとうきび工場から出る糖蜜をエサに培養した有用菌を使い、健全な土づくり、作物づくりに努めています。・天然物由来の農薬や天敵などを活用したIPM技術を導入し、できるだけ化学農薬を使わない安心・安全な野菜作りをめざしています。

実績は赤崎ハウス8の履歴です。
2023/12/27 現在

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月	収穫	収穫
2月	収穫	
3月	収穫	
4月	収穫 ~4/15(予定)	
5月		
6月		
7月		
8月		
9月	耕起、施肥	耕起 9/30~
10月	耕起	耕起
11月	耕起、播種、施肥、防除	耕起、播種 11/5~
12月	耕起、播種、収穫	耕起 ~12/15、播種 ~12/10、収穫 12/26~

耕起開始:	令和5年9月30日
終了:	令和5年12月15日
播種開始:	令和5年11月5日
終了:	令和5年12月10日
定植開始:	
終了:	
収穫開始:	令和5年12月26日
終了:	令和6年4月15日(予定)